

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～24℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の55%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の44%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり118kgの水揚げで、前週の4.2倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり63kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり568kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の78%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり167kgの水揚げ。北松生月地区では、トビウオなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり213kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり343kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり166kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を下回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり40kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区ではマアジが1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/15日～6/19日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-18号 6月に実施した五島灘・五島西沖の観測結果・第31-19号 6月に実施した壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>